

たまにはインパール

いきなり結婚式です。お人形さんのような衣装でしょう？ティアラなどの宝石類も 20kg くらいあるため、花嫁さんはかなりタフなのだそうです。インパールで過ごす時間はデリーなど北インドの 1 週間に比べると非常にシンプルですが、とても短く感じるのが印象的でした。

今回はデリー、コルカタ経由でインパールまでやってきました。花婿さんはブンニャくん。正式名はブンニャキショール。面白いことに彼は日本ではなく韓国に国費留学していました。愛媛大学にいるインド人留学生を訪ねてきたのが縁で知り合いました。



マニプルドレスを着た花嫁さん♪スカートの中に小さなクッションのようなものを置いて座るのだそうです。



下の写真は第二次世界大戦の際にミャンマーから進行してきた日本軍が戦った Red Hill と呼ばれる場所です。この記念碑は現地の村長さんが建てたそうです。結婚式までの空いた時間にミャンマーとの国境までドライブ。



これは結婚式に参列する衣装です。ピンクの縞は、サリーではなくスカート。



これはブンニャの姉妹一族。見事な女系♪向かって私の右となりはブンニャの義妹で医者です。



ブンニャのいとこが近くの私立高校を経営しており、頼まれて簡単な講演と言うか交流会を行いました。横に座っているのはブンニャの双子の弟でプスパキシヨール。整形外科医です。地元の人たちとの交流は結構楽しい！



ブンニャの新居で。1週間ここのベッドルームを使わせてもらいました。奥はダイニングキッチン。で、夜は酒盛り、な〜んちゃって。花嫁さんの道具類が運ばれてくる直前ですのでガラ〜んとしています。薄いピンクのショールは手織りです。信じられないくらい高いですよ♪



結婚式前に花嫁さん側を訪れました。妹とお友達，きれいどころと一緒に。



結婚式の数日前に行うセレモニーのようです。ご老人たちは耳にマリーゴールドの花をさしています。かわいいでしょ？



式場に向かう前にご両親と一緒にパチリ。私は叔母ということになっています。



式場に向かう前の花嫁さんです。名前はディミ。お父さんはすでに亡くなっていますので、お母さん、妹、そして従兄と。お母さんは看護師さんですよ。



お母さんから花嫁さんに化粧品のギフト。花嫁さんはお医者さんです。



結婚式の翌日、いきなり大勢（20人くらい）の女の子だけがドカ〜ッとやってきました！新婚さんのベッドの上に座っておしゃべりして食べて、……。インパールの習慣のようですね。



これは大きな湖の上に浮草を集めてそのうゑに建てた小屋です。住人は漁業で生業をたてています。



丘の上から湖を見たところ。いたるところに浮草のサークルが見えます。喧騒のデリーとは大違いです。これも空いた日のドライブ。

さて、インパールは私の育った幼いころの田舎の景色とよく似ています。道は狭くて埃っぽいし、デリーやほかの大きな街のような華やかさは全くないのですが、人々は温かく気持ちよく接してくれます。巨大なアジアのウーマンズマーケットがあり、ここでは母ちゃんやおばあちゃんたちが商売をしています。男の人にはビジネススペースはありません。人々の顔は日本人と見分けが付きません。日本人と分かると、自分も忙しいのに傍について最後までサポートしてくれます。デリーと違ってお魚を良く食べるのにも驚き。煮干しのような干魚でスープの出汁をとります。牛肉も食べますし、お酒もガンガン飲みます。すぐ隣はミャンマー。松山のお友達に3歳のときにお父さんをミャンマーでの戦争で亡くした、という人がいます。小高い山の上からミャンマーを眺めると国も人も時間も空間も続いているんだな〜とつくづく感じました。



インパールはマニプルの州都です。2018/2/14～20まで滞在しました。

愛媛大学総合健康センター
村上 和恵